

棚田に吹く風



1 2011
月号
Vol.74
隔月刊

2 特集

棚田のあかり

- 6 棚田・里山からのたより
富山湾と立山連峰を望む長坂棚田
富山県氷見市長坂地区
- 8 棚田カフェ レシピ
田んぼの生き物たち
- 9 フォトエッセイ
棚田のあるところ

- 10 レポート
第5回東京棚田フェスティバル
- 12 会員のひろば
- 14 棚田ネットワークの
かつどうノート
kamyのつぶやき
- 15 Project Report



棚田のあかり

特集

2004年5月に行われた第2回の土谷の火祭り

棚田にあかりを灯す…。
何ともロマンチックで、幻想的なイベントが、現在全国各地の棚田で開催されています。

その始まりは、棚田百選にも選ばれた長崎県松浦市福島町の土谷^{どや}棚田で、2003年8月に行われた「火祭り」だといわれています。棚田一帯の畦畔に約2000本の手製のトーチが並べられた光景は今も語り継がれています。残念ながら現在は中止になっていますが、棚田に希望の火を灯す夢のある発想は、各地の棚田へ飛び火し、今や「火祭り」は棚田の代名詞になりつつあります。ろうそく、松明、竹筒、さまざまに趣向を凝らした棚田のあかりたちをお楽しみください。



星が輝く「だんだんの里」に 幻想的な光の曲線を描く キャンドルナイト



高知県仁淀川町
長者の棚田

高知市から西へ約60キロに位置する仁淀川町・長者地区は、標高600メートルほどの険しい山並みに囲まれ、その斜面に約200世帯が暮らしています。

集落の中心部にある棚田は、高齢化の波で休耕田が増え雑草が繁茂。「長者の玄関口が荒廃していくのは忍びない」と、平成15年に地元の「定年団」が中心となり「だんだんくらぶ」を立ち上げました。棚田の景観を守るための草刈りや「花菖蒲まつり」「七夕まつり」に加え「キャンドルナイト」を催し、地域に元気を「と現在も心を一つに実践しています。

このイベントは、高知大学による長者地域の「お宝探し」ワークショップで「棚田を活用したキャンドル」との提言を受けたのが始まりで、高知大学や農水省等の支援のもと、平成19年度から実施しています。

第4回となるキャンドルナイトが12月4日に行われ、西暦にちなんだ2010個のキャンドルへの点灯には地元の小学生からお年寄り、お客様にも参加していただき、幻想的な夜景にひたりました。また「くらぶ婦人部」が地場産の農産物や加工食品を販売し、お客様に喜ばれています。高知市や松山市など県内外からカメラマンを含め毎回500人ほどの人出があり、年に一夜のお祭りに地元住民は不思議な力をもらい、「来年もまたやらにやあいかんネエ」と励まされています。

この縁起のいい「長者」という地名は、棚田「だんだん」の「灯」を守っていく限り、「長者が我が故郷」として、必ず次代へ受け継がれるものと確信しています。

(だんだんくらぶ事務局 野々宮輝雄)



棚田で光のアーティイベント

新潟県柏崎市

「たんねのあかり2010」

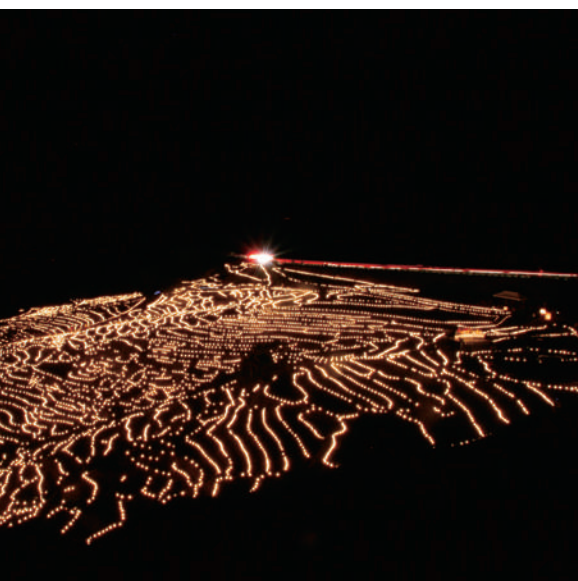


谷根の棚田

「たんねのあかり」は、女子美術大学の教師陣・学生と谷根地域住民の共同作業によって2009年から始まった、光のアーティイベントです。2010年は10月16日に開催され、約3千人(前年の約3倍)が来場しました。メイン会場は稲刈り終了後に代を掻き水を湛えた棚田。17時過ぎ、各所に配置された約4000個のピン

の中のローソクが点火されると、会場は感嘆の言葉であふれました。個々のオブジェは言うまでもありませんが、会場全体が幻想的なあかりに包まれた一大アートとなって、訪れた人達の心に大きな感動を刻みました。また本部広場の特設ステージ上では谷根神社の奉納舞が上演され、観客の皆さんは大満足の様子でした。

『たんねのあかり2010』⇒ <http://tanne2010.jugem.jp/>



3万本の灯りは圧巻! 潮風と虫の音が心地良く…

千葉県鴨川市
大山千枚田



里山を幻想的に照らし出す『棚田の夜祭り』



棚田のあかりは、ご先祖様 へのメッセージ



熊本県水俣市
久木野の棚田

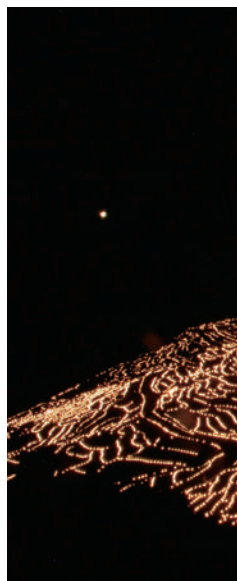
2005年に始めた「棚田のあかり」は毎年5月に田植え前に水を張った棚田で行われ、2010年で6回目です。材料は自然素材にこだわり、竹筒・稲わら・使用済食用油から作ったバイオディーゼルオイルを使用しています。竹筒は使い捨てですが、使用後は炭に焼いて、土壌改良材として田畑へ撒いています。

棚田への関心を高めるとともに、所有者に棚田の美しさを味わってほしいということで始めたこのイベントも、最初は「愛林館」主催でしたが、2回目からは地元寒川集落も主催者に名乗りをあげてくれました。この「あかり」は棚田を作ったご先祖に「今年も耕し続けています」というメッセージになっています。
(愛林館・沢畑亨)

棚田のあかり

全国の主な“棚田のあかりイベント”一覧

棚田名	名 称	あかりの種類	時 期	開始年
大山千枚田(千葉県鴨川市)	棚田の夜祭り	竹筒、松明 3500本 (食用油の廃油使用)	10月末～11月初旬 の9日間(2010年)	2006～
谷根(新潟県柏崎市)	たんねのあかり	ろうそく 4000本	10月中旬	2009～
稲倉(長野県上田市)	ほたる火まつり	ろうそく 1000本	7月下旬	2006～
上倉沢(静岡県菊川市)	棚田で灯りアート	ろうそく 500本	6月中旬	2009～
四谷千枚田(愛知県新城市)	みんなで灯そう千枚田	ろうそく 1500本	6月第一土曜日	2006～
坂折(岐阜県恵那市)	田の神祭り(灯り祭り)	ろうそく 500本	6月初旬(田植え後)	2009～
白米千枚田(石川県輪島市)	あぜの万燈(あかり)	ろうそく 30000本	10月初旬	2008～
下赤坂 (大阪府千早赤阪村)	棚田夢灯り	ろうそく 3000本	11月初旬	2009～
長者(高知県仁淀川町)	キャンドルナイト	ろうそく 2010本	12月初旬	2007～
貝ノ谷(高知県津野町)	棚田キャンドルまつり	ろうそく 3500本	10月中旬	2009～
大中尾(長崎県長崎市)	大中尾棚田火祭り	空き缶、麻紐、灯油 5500本	10月下旬	2008～
久木野(熊本県水俣市)	棚田のあかり	竹筒、藁の芯 2000本 (食用油の廃油使用)	5月(田植え直前)	2005～



石川県輪島市
白米千枚田

棚田・里山
からの
たより



富山湾と立山連峰を望む長坂棚田

富山県氷見市長坂地区



上：富山湾と立山連峰を望む長坂棚田／下左：田植え風景／下中：女良小児童による獅子舞奉納／下右：稲刈り風景

「長坂棚田」のある氷見市は、富山県の西北部・能登半島のつけ根部分に位置し、多くの幸をもたらしてくれる「青い海」と「みどり豊かな大地」という自然の恵みに包まれています。その中でも「長坂棚田」は、眼下に富山湾と立山連峰を望む美しい景観を有し、「日本の棚田百選」に認定されています。

今、手を打たなければ 取り返しがつかなくなる

長坂地区は石川県境に近い中山間地で、標高200mの急傾斜地に棚田が広がっています。加賀藩の特権職人として保護を受けた大窪大工の根拠地で、社寺が多くある集落です。昭和50年代には、人口の減少、農業従事者の高齢化及び担い手不足などが深刻化し、耕作放棄地の増加に歯止めがかからず、昭和55年から60年にかけて土地改良事業により概ね10㍏区画の

圃場整備がなされました。しかしその後も棚田の荒廃が続き、地区住民は「今、手を打たなければ取り返しがつかなくなる」という危機感を募らせていました。

県内初のオーナー制度開始

農業の未来に明るい展望が見えない中、農地の荒廃をくい止め地域農業の活性化を図るには、生産基盤の再整備が急務であるとし、平成10年、11年に「棚田地域等緊急保全対策事業」を活用し、農道舗装や水路改修等を行いました。その時、市役所から棚田オーナー制度の導入を提案され、平成10年に「氷見市棚田保全推進会議」を発足し、平成11年に県内初の棚田オーナー制度を導入し、44組が初代オーナーとなり、スタートしました。

棚田の魅力は、生活排水のほとんどない豊かな自然の中で、昔ながらの米作りにこだわりをもち、減農薬栽培をしているところです。

オーナー制度の特徴としては、1区画100㎡当たり年会費3万円（全体面積58㌥）、特典として、棚田の玄米40㍥及び氷見の特産品を送っており、オーナーの作業である田植え及び稲刈り・はさ掛け作業終了後には、長坂棚田米のおにぎりや地元産の食材を使った味噌汁を振舞っております。

また、オーナー田を管理している地元農家等で組織された「椿衆」という実践班がオーナーの作業支援をしており、市内の宿泊施設の協力を得て、オーナーの温泉入浴の割引も実施しております。

オーナー制度の成果

オーナー制度を導入し10年余り経過しましたが、成果としては、「椿衆」が中心となり、非農家、地区が一体となって打ち合わせを行い、オーナー田の管理及び農作業を通じて、中山間地のような条件不利地の農業への理解を深めることができました。また、先人が苦労して築き上げ、守り続けてきた棚田を後世に継承しなければという意識が芽生え、役割分担の中で若い

人も責任を持って準備に取り組みなど、世代を超えて住民の絆が深まり、地域の活性化につながっております。

また、棚田及び環境保全への関心が高まり、地区全体で環境美化に努めるようになり、「日本の棚田百選」の認定を皮切りに、平成13年3月に「美しい日本のむら景観コンテスト」において全国農業協同組合中央会長賞を受賞し、平成19年6月には「とやま未来遺産」に認定されるなど、数々の表彰を受けることができました。

さらに、メディア等に取り上げられることで、小学校の生徒も興味を持ちはじめ、食の教育の一環

として「棚田に関する学習発表」が行われるようになりました。

今後の問題と新たな取り組み

しかしながら、地区全体を見ると、依然として人口の減少に歯止めがかからず、耕作放棄地の増加が進行しております。オーナーを支える「椿衆」の高齢化、さらに、全国各地のオーナー制度増加の影響を受け、オーナー数もスタート時と比較し減少している状況であり、今後の大きな課題となっております。

このような問題を少しでも解決するため、来年度から3年間、耕作放棄地の解消や動物との共生を目的に「カウベルトの郷づくり事業」

を活用した新たな取り組みが始まります。棚田に隣接する耕作放棄地に氷見牛を放牧し、雑草を食べてもらうことで、「椿衆」の草刈り作業の軽減や耕作地の復元化を図るとともに、棚田でのびのびと育つ氷見牛のブランド化に向け、微力ながら協力できればと考えています。

オーナーの皆様をはじめ、多くの皆様方からのご理解とご協力を得ながら、地区住民が一致団結し、先人から引き継がれてきた長坂地区の貴重な文化遺産である「長坂棚田」を守り続けていく所存であります。

氷見市棚田保全推進会議
実践班長 木和田 勝



長坂棚田へのアクセス

【公共交通】JR北陸線で高岡駅へ。JR氷見線に乗り換え氷見駅下車。タクシーで30分

【自家用車】北陸自動車道「小杉IC」から氷見へ、国道160号から県道万尾宇波線に入り、県道平阿尾線（県道306号）を北上すると「長坂の棚田」の案内看板がある。それに従って農道を登る。

お問い合わせ

【氷見市棚田保全推進会議】
Tel:0766-74-8086（氷見市農林課）





石部産ひじきと黒米うどんの ペペロンチーノ

静岡県松崎町石部棚田の地元素材使用



■材料…石部産ひじき（水で柔らかくもどす）、黒米うどん、オリーブ油、ガリック、唐辛子、ハーブミックス、お醤油など

眼下に駿河湾を一望できる石部棚田は、地元周辺でも評判のやわらかくて美味しいひじきが採れます。集落みんなで収穫するひじき漁は、今や少なくなつた「結」のシンボル。今回は、石部棚田で育つた黒米を練り込んだうどんと合わせて、ペペロンチーノを作ってみました。磯の香りとオリーブオイルに絡まつた黒米うどんのモチモチ感が絶妙です。えっ、何でイタリアン？ここ石部にはなんとオリーブ畑があるので。温暖な伊豆半島は、イタリアに似ているのかも。ポイント、うどんを硬めに茹でて、水にさらさず使うこと。お好みで、少しお醤油をたらして味付けしてください。

棚田のとおき

棚カフェ レシピ

Vol.1

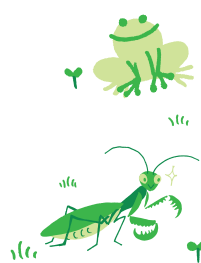
棚田地域で
手に入れた食材に、
ちょっと手を加えて…
創作料理の完成♪



田んぼの 生き物たち



第23回 モズ



写真：桐原佳介

今回は、ギチギチギチと鋭い鳴き声で、冬枯れの田んぼの林縁などでさえするモズを紹介しましょう。スズメより少し大きく、やや大きな頭に、くるくる動かす長めの尾羽が印象的で、シルエツだけでも見分けられやすい野鳥です。オスは目の回りの黒い模様が、まるでサングラスのよう。メスの顔は可愛らしく、お腹には細かい鱗模様があります。鍵状になった

嘴は小鳥をも襲う小さな猛禽類さながらです。

以前は、雑木林や植え込みの鋭い枝や有刺鉄線の柵などに、モズの作つた「はやにえ」をよく見かけたものです。オケラやゴミムシ、トカゲなどの小動物が半ばミイラのように干からびて、トゲ状のものに刺さっているフィールドサイン。貯食だとも、なわばりの印だともいわれています。ちよつとした里山、山里なら比較的見つけやすかつたモズの「お仕事」。しかし、私自身、最近には目にしていないので、どうしてかしらと気になっているところなんです。食べ物が少ないのか、「はやにえ」を刺す場所がないのか、モズの数が少ないのか。今季の冬はちよつと意識して探してみようかと思っています。「はやにえ」も地域の豊かさを示すひとつのサイン。みなさんは見たことがありますか？

（自然観察指導員 桐原真希）

棚田のあるところ

写真と文 大塚 雅貴



夕日の美しい棚田

長崎県松浦市福島町

どや
土谷の棚田は、玄界灘に沈む夕日が美しいことで知られる絶景の撮影ポイント。とくに4月中旬から5月

上旬にかけて水を張った時期は、斜光を受けて天を映し出し、田植えをする農家の人たちや、木々やあぜ道がシルエットになって幻想的な風景をつくり出す。一望でき
る高台にある見晴台には心地よい潮風が吹き、近くの
畦にはタンポポが咲き、蛙の鳴き声が響き、遠くの海上
では島を結ぶ連絡船や貨物船がゆつくりとしたスビー
ドで行き交う。

「今日はいいい夕日が見られます」とおしえてくれたのは、何度もしこに通っている地元カメラマン。太陽が水平線に近づくにつれ、空や海の色が赤く染まってきた。夕日のショットも素晴らしいが、私は棚田にズーミング。風で水面が揺れ、キラキラと輝く棚田。刻々と変化する水面の色、太陽が水平線に沈むまでの間、夢中でシャッターを切り続けた中でこの一枚が気に入っています。

Profile

写真家

大塚 雅貴

おつか まさたか

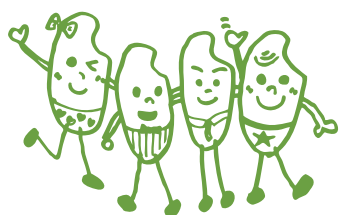


1968年、千葉県生まれ。1993年、写真家・野町和嘉氏の助手としてサハラ砂漠取材に同行。1997年からエジプトでアラビア語留学を経て、リビア、ニジェール、マリなどのサハラ砂漠を取材する。2004年キヤノンマーケティングジャパン(株)カレンダーの撮影を担当。写真集「耕して天に至る〜中国・雲南 世界一の棚田」(毎日新聞社)を出版。現在、北アフリカを中心に遺跡やサハラ砂漠の撮影を続け、雑誌や個展などで作品を発表している。

■大塚雅貴オフィシャルホームページ
<http://www.photo-otsuka.com>

..... 個 展

- 2000年「食巧の美」(中国雲南の棚田) 開催(銀座キヤノンサロン)
- 2003年「砂が描く大地」(最奥のサハラを行く)開催(銀座富士フォトサロン)
- 2004年「山郷」開催(全国キヤノンサロン)



第5回

東京棚田フェスティバル

Tokyo Tanada Festival
Staff Report

スタッフ
レポート



棚田ネットワークスタッフ

芝田 涼子 さん

棚田フェスティバルには3度目の参加になりました。毎年楽しみにしているのは棚田の新米です！ やっぱり棚田のお米は最高ですね。普段手に入らない地域のお米が買える・食べられる。棚フェで棚田米ファンがもっと増えるといいですね！



学生ボランティアスタッフ

宮原理沙さん(写真左) 近藤 泉さん(写真右)

初めての参加でしたが、フレンドリーな雰囲気と、たくさんの方との素敵な出会い…本当に楽しい時間を過ごす事ができました。ありがとうございました。



ボランティアスタッフ

横山 功さん あきこさん 夫妻

奥まった会場と、野菜市との同時開催で 一体感を感じづらかったけど、逆に個々人との直接的なコミュニケーションがとれていろいろ考えるきっかけができました。ファッションショーは次回も楽しみ！



5回目となる東京棚田フェスティバルが、晴天に恵まれた11月12日(金)・13日(土)に開催されました。参加していただいた保存会や団体は20地区・23団体にのぼり、2日目はファーマーズマーケットと同時開催とあって、終始賑やかでした。



棚田ネットワークスタッフ
玉崎 修平

日程が11/12(金)・11/13(土)で、土曜日は同時開催されるファーマーズマーケットから人の流れを期待してたものの、金曜日はどうなる事かと心配していました。その為、写真展の投票も来場者が少ない場合を見込んで二つのテーマ毎に三作品ずつ選んでもらう態勢に。しかし、蓋を開けてみれば金曜日からひっきりなしに人がきてくれる状態で！

土曜日は棚田米おむすび販売員をやりました。見た目が怪しい私ですから、おむすびにイカガワシイものが入っているのではと思われないうような愛敬をふりまいて！普段はデスクワーク中心なので、とっても貴重な体験となりました。

去年は、当日のみのスタッフとして参加しましたが、今年はフェスティバルに向け、立ち上げから参加させていただきました。

1ヶ月前からの棚田写真展、フェスティバル当日のアトラクションなど、戸惑いもありましたが、最終的にはキャリアのある事務局スタッフの後押しや会場のスタッフみなさんのお力をいただき無事に終えることができました…感謝々々です。ご参加いただいた保存会・団体のみなさまには段取りが悪く何かとご不便をお掛けしたと思いますが、今回、最初から参加できたことで、昨年以上に棚田への思いをステップアップすることが出来ました。そして、同じくご一緒に参加していただいた会員のみなさんの熱き思いも十分感じることが出来ました。

棚田ネットワークスタッフ
笹野 守夫



会員の声

水源の里 たんね 谷根の取り組み

新潟県柏崎市 竹内 吉一

新潟県柏崎市、米山(標高993m)の麓にある谷根集落での取り組みの一端を紹介します。

谷根集落はすり鉢状の地形をしていて、集落の中心を流れる谷根川を集落の上流部で堰き止めた2基の上水道専用ダムは、9万市民の飲料水源になっている。谷根が「水源の里」と称される所以はこのためである。水源の里という意識から、土手と呼ぶ耕地の土坡法面に生える雑草は、除草剤を使わずに背負いや肩掛けの草刈機で10日～半月間隔で刈り払い、すり鉢状の底部にある棚田の畦畔には芝桜を植栽している。こうした取り組みにより、畦畔管理の美しさは市内随一と言ってよい。また米山を仰ぎ見る山腹には、桜やアジサイなどを植え、集落住民手づくりの藤棚やベンチも設えた休憩展望所「ビュー米峰」を造り、ここの草刈りや植樹木の冬囲いなどの管理作業は、谷根川の「川掃除作業」とともに集落の二大行事になっている。

こんな諸活動を毎年重ねてきたことに加えて、山桜やナラ類、ケヤキ、楓、椿、杉など多種多様な樹木の山々は美しい山里景観を演出している。そして、この美しい山里を写真に収めたり写生したり、ビュー米峰でキャンプしたりする来訪者が年々増えている。

そんな折、平成21年2月、あかりのアート



やデザインによって地域を知り学ぶようなワークショップができる候補地を探していた女子美術大学(神奈川・相模原市)の先生の目に谷根の景色が留まり、「あかり」と「そこにあるもの(自然環境・景色・地域・素材・伝統・らしさなど)」をテーマにしたアートイベント「たんねのあかり」が始まった。

2年目の平成22年10月16日(土)、代を掻き水を湛えた稲刈り後の棚田や川の中、道路脇、橋上などに配置されたアート作品にキャンドルのあかりが灯されると、一帯は幻想的なメルヘンの世界に包まれ、約3千人の来訪者からは驚嘆、絶賛の声が上がった。そして田植え間近と勘違いしたのか、それとも余りの美しさに冬眠準備そっちのけで浮かれ出たのか、カエル達がそれはそれは賑やかに合唱し、思わぬBGM効果に主催した我々実行委員も驚いた。

詳しい情報は…

- 柏崎の棚田&駅・まち
<http://www.tanada-eki.com/>
- たんねのあかり2010
<http://tanne2010.jugem.jp/>

会員のひろば



会員の声募集!

「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください!「ご要望、感想や質問でもOK!」(会員の声800字まで、会員レポート400字まで。写真も添えて)〒160-0003 東京都新宿区西新宿7-1-116 トーシンハイム七〇四号「棚田に吹く風 会員のひろば」宛メールでも受付けています ↓ hiroba@tanada.or.jp

会員レポート

単身赴任の棚田ライフ

群馬県高崎市 高山 承之

2007年7月に群馬・前橋に転勤。千葉・鴨川の棚田オーナー経験もあり、群馬の棚田に関われば地域を知ることにもなるし……と、思っていたところ、棚田ネットワーク会員K川さんよりご縁をいただき、知人のデザイナーご夫妻も誘い川場村・富士山棚田のオーナーに。上州武尊山から清水が流れ、南に赤城を望む。

仲間は紳士揃いのK大OBで、指導農家の峰治さんと同年輩。筋時きから初摺りまで、オーナーの公式行事を超えて関わっている。時々密度から、苗取りと束ね、水路清掃、代掻き、田植え、草取り、草刈り、獣害の見分け方、稲刈り手法、はさ掛け、脱穀、初摺りまでマニュアル無しのノウハウの塊。まだまだ聞いておかなければいけないことが一杯ある。ほかに餅つき、味噌仕込等を通じて農のライフスタイルに楽しく触れさせてもらっている。定宿・富士見荘のお母さんは、農林漁家民宿おかあさん百選の蕎麦打ち名人で、作業後の温泉に続き篤農家のご主人も加わっての一献は大きな楽しみ。ここでも農談

義が。職場の後輩も加わり復田により面積も増えは4年目。来年も鎮守様へのお参りと餅つきからスタートする。

皆さんも地域の棚田に飛び込んでみませんか!! もう一つのほっとする時間と空間がそこにあります。





会員の
Best Shot!

お日様のにおいがする

東京都立川市 神田 茂実

稲刈り&ハサかけ。収穫を全身で感じる瞬間です。この瞬間の為に皆が集まり、畦塗り、代掻き、苗代、田植え、草取り、ハサ組み&解体等をやっているのだと思う。
(新潟県十日町市浦田にて)

会員のみなさんの ベストショット募集!!



みなさんが撮影した棚田や作業風景の写真など、ベストショットをコメント(70文字程度)を添えて編集部まで送ってください。毎号、紹介させていただきます! 送り先は下記。

〒160-0023東京都新宿区西新宿7-18-16
トーシンハイム704号

「棚田に吹く風 ベストショット」宛
メールでも受け付けています

⇒ hiroba@tanada.or.jp

編集部イチオシ! **BOOK & Movie**



映像詩 里山 劇場版



DVD¥3,990円(税込)
本編140分+特典1分
(劇場予告)
発行・販売:
NHKエンタープライズ
©2009 NHK

NHKで放送されたドキュメンタリー「里山シリーズ」に新たなシーンを追加編集した劇場版。里山を舞台に、森を利用しながら幾世代にもわたって受け継がれてきた人々の営みや、そこに暮らす生きものたちが繰り広げる物語を通じて、人間と自然の共生を美しい映像で捉える。それらが失われつつある現状に警鐘を鳴らすと同時に、未来のあるべき姿を映し出すドキュメンタリー。テレビシリーズに続き写真家の今森光彦が出演。



限界集落と地域再生 大野晃著



¥1,680(税込)
高知新聞社
2008年11月刊

過疎高齢化し荒廃する中山間地農村の諸問題について、全国各地の実態を調査している長野大学の長野晃教授がリアルに描き、課題と再生への取り組みを紹介したルポである。「限界集落」という概念は、著者が1991年に最初に提唱した概念であり、過疎高齢化問題では第一人者である。この本では、限界集落の進行をどう食い止めていけばよいのか、地域再生への方向性を見事に打ち出している。

棚田ネットとアストラゼネカ社が パートナーシップ賞を受賞!

2010年11月27日 報告 高野 光世

NPOと企業のパートナーシップを育て、支援しようという「パートナーシップ大賞」の最終選考を兼ねた発表会が、11月27日(土)に名古屋市中区で開かれました。主催はNPO法人パートナーシップ・サポートセンター。応募30事業の中から2次選考を通過した6団体のプレゼンテーションがあり、棚田ネットワークとアストラゼネカ社が協働する「高齢化する村を応援するプロジェクト」もプレゼンを行いました。残念ながらグランプリ受賞とはなりませんでしたが、パートナーシップ賞としてクリスタルの楯と副賞の賞金をいただきました。もともとあまり賞に応募しないため、受賞歴のほとんどない棚田ネットにとっては嬉しい経歴となりました。



東京棚田フェスティバル 棚田のまもりびとたちの「車座トーク」

2010年11月12・13日 報告 岩野 知子

棚田フェスティバル初日11/12の「棚田のまもりびとと車座トーク」では、各地域の特徴を生かした豊富な活動内容の紹介と、お互いに共通する課題や問題について活発な意見交換を行いました。翌11/13のパネルディスカッション「棚田を支える人びと」では、4地域のパネラーによる活動紹介とともに棚田ネットのメンバーや地域おこし協力隊、棚田オーナーさんのコメントと、実際に支える・関わる人びとの声を会場の皆さんにお届けしました。来年はさらに内容の充実をはかりたいと思います。よろしくお願いします!



棚田ネットワークの かつどうノート



このコーナーでは、棚田ネットワークのスタッフの活動や事務局のことなどを幅広くお伝えしていきます。

棚田での農作業事故の情報が時々入って来ます。耕運機の下敷きになったり、コンバインに巻き込まれたりと重大事故が後を絶ちません。

農作業安全情報センターの調べによると平成二〇年の農作業死亡事故は、全国で374件も発生しています。悪条件の山間地ばかりではなく平場の田畑でも農家の高齢化に伴い事故が多発しています。

事故を減らすのは簡単ではありませんが、事故に備えることは容易です。まず保険。棚田ネットワークでは事故に備え会員を対象にした団体傷害保険に加入しています。しかしこれはあくまでボランティア作業中の事故対策で日常的な農作業には別の保険加入が必要です。

もうひとつは携帯電話。棚田地域では電波が届かない場所もありますが、この秋新潟県で発生したボランティア作業中のハザ掛け事故では、被害者が持っていたD社の携帯電話が通じ、即救急車を呼ぶことができました。これとは対照的に関西では、農作業の夫が夕方になって帰宅しないことを心配した奥さんが、棚田に探しに行ったところ、畔から転落し動けなくなり雨に打たれ衰弱、間もなく死亡したという話を聞きました。すぐ救助を求めることができれば助かっていたかも知れません。

携帯電話も機種によっては現在地在常時通知できるし、ボタンひとつで事故を家族に知らせることもできます。美しい棚田を守る裏には、危険な作業も伴うわけですが事故の撲滅を願うばかりです。

Kamyの
【カミー】

つぶやき



つぶやき人
事務局スタッフ カミー
(所沢市在住)



■ ブログ「棚田に吹く風」
<http://tanada.sblo.jp/>



助けてくれ〜!

栃木県茂木町

茂木プロジェクト

初冬を迎えた岩ノ作棚田



ホソミオツネトンボ

2010年の茂木プロジェクトは2月の雑木林の手入れと餅つきに始まり、5月の田植え、7月の生きもの調査と続き、9月の稲刈りで一区切りがつきました。岩ノ作棚田の新米を注文された活動参加者や会員の皆さまには、配送も終わりました。例年、この棚田の米は美味しいという定評がありますが、今回はいかがだったでしょうか。

岩ノ作棚田の秋を最後まで飾っていた畔際のリンドウも既に枯れ、生きものたちの賑わっていた岩ノ作棚田も静かな冬の季節を迎えています。シンボルのホトケドジョウも棚田の中の小さな水路から山際の本水路に移りました。ただ、成虫で越冬するホソミオツネトンボは、林縁の日だまりで時々姿を見かけることができます。

生きものたちの賑わいは、2月上旬に恋の季節を迎えるニホンアカガエルの合唱から始まります。2011年も、体験米作りをはじめ、いろいろな活動を計画しています。また皆さまと活動の現場でお会いしましょう。

(安井 一臣)

岐阜県恵那市

棚田ビオトープ プロジェクト

棚田ビオトープで草刈り



棚田ビオトープでの草刈り

棚田ビオトープの畦畔草地は、そこに棲むカエルや昆虫などのために草刈りをしないように管理しているのですが、やはり年に1度ぐらいい手入れをしなければなりません。製菓会社であるアストラゼネカ社がおこなうCSR活動が10月8日にあり、その際、棚田ビオトープの畦畔草地の草刈りと石垣の草取りをしました。そして、ちょうど岐阜県立国際園芸アカデミーにJICAの事業で来ているモロッコからの研修員、アイシーさん（と通訳さん）も参加しました。このCSR活動ではいつも棚田での作業前に準備体操をするのですが、今年はテレビ・ラジオ体操指導者の西川佳克さん本人の直接の指導を受けながら体操をしました。さて、本題。午前中はススキが成長し、外来種であるセイタカアワダチソウが満開の畦畔草地の草刈りをしました。午後は何年ぶりでしょうか、石垣の草取りをしました。皆さんの働きのおかげで、すっかり綺麗になりました。次の日、アイシーさんは「昨日は疲れて、家に帰ったらすぐに寝てしまった」と言っていました。

(相田 明)

大阪市中央区

大阪プロジェクト

棚田 de ファッションショー



棚田 de ウエディング

棚田むすびの会では、10月の大阪棚田フェスティバル、11月の東京棚田フェスティバルにて「棚田deファッションショー」を実施しました。

大阪は、三重県伊賀市柘植の忍びの棚田を会場にして、忍者パフォーマンス、早乙女の踊り、農民踊り、現代風早乙女、ウエディングと盛りだくさんの内容でした。

当日の様子は伊賀上野ケーブルテレビでも放映され、地元の方々から「このようなイベントをどんどんやって欲しい」とのお声をいただき、棚田に注目を集めることができたと思います。

東京は、青山の国連大学の中庭が会場でしたが、舞台を棚田に見立てて早乙女、ウエディングのパフォーマンスを行い、全国の棚田保全団体の皆さんにもご覧いただきました。

棚田むすびの会では早乙女衣裳の貸し出しや、棚田でウエディングのプロデュースも行っています。棚田地域の活性化のお役に立てれば幸いです。

(中崎 義志晴)

棚田学会公認

棚田検定

<http://www.tanadagakkai.com/kentei/>

例題

1. 棚田のことを別名で何と呼ぶかを、次の①～④から一つ選び数字で答えなさい。

- ① 百枚田 ② 千枚田
- ③ 万枚田 ④ 億枚田

2. 1俵(ひょう)は何kg(キログラム)かを、次の①～④から一つ選び数字で答えなさい。

- ① 約10kg ② 約30kg
- ③ 約40kg ④ 約60kg

棚田は、日本の原風景ともいわれ、
文化的景観として評価されていますが、
実情は生産性の低さから耕作放棄が進んでいます。

棚田学会は、皆様が検定を通じて困難な状況にある棚田について
一層理解を深め、今後の棚田保全に結びつくことを願っています。

棚田学会 会長 中島 峰広

WEB検定

受験料の一部は棚田学会を通じて、棚田保全活動に活用されます。
受験料：各コース2000円(税別)

■ 検定級

▼ 学士(初級)

主に、棚田に関する一般的な基礎知識・理解を問う問題。

- ・合格者特典(例) 絵葉書・カレンダーなどの文具贈呈
PC用の棚田の壁紙画像(学会HPよりダウンロード)

▼ 修士(「学士」合格者向け)

歴史学、地理学、民俗学などの分野から専門知識を問う問題。

- ・合格者特典(例) 棚田米お試しセット

▼ 博士(「修士」合格者向け)

棚田に関して国際的な視野と深い見識を問う問題が出題されます。

文化的景観や21世紀における農業保全のあり方など政策的な課題も問われます。

- ・合格者特典(例) 棚田写真集・棚田関連本

「棚田博士」として自らワークショップを開催可能(学会HPでの告知など学会サポートあり)

■ 棚田検定は、どなたも「学士」(初級)からのスタートになります。

「修士」受験には「学士」の合格が、「博士」受験には「修士」の合格が受験条件となりますので、ご了承ください。

■ 合格者特典は数量によっては、抽選になりますのでご了承ください。

例題の回答：1-②、2-④



わたしたちと「棚田の応援団」やりませんか！

棚田ネットワークは「棚田の保全に協力したい!」という会員によって自主的に運営されているNPOです。

消えゆく美しい「棚田」をどのように保全していくことができるのでしょうか?一緒に考えませんか?ぜひ、私たちと棚田の応援団になりましょう!

会員になると!

会報誌「棚田に吹く風」(年6回)やイベント案内お届けの他、棚田ネットワークが主催する各プロジェクト(イベント)への参加や、スタッフとしての活動もできます。

年会費

○ 個人会員

維持会員	1口1万円(1口以上)
一般会員	3,000円
学生会員	2,000円

法人会員を募集しています!

私たちの活動にご支援・ご協力をいただける、企業、団体、事業主さまを募集しています。詳細はお問い合わせください。

年会費

○ 法人会員

1口3万円(1口以上)

この上のスペース(ページ上1/2サイズ)は法人会員さまのPRスペースとして広告や広報にご利用いただけます。(詳細はお問い合わせください)

編集部から

2010年から2011へ棚田フェスが盛況の内に終わりました。今回は、新しい会員さんの大活躍によりおしやれで素敵なイベントになりました。なんとつてその会員さん達は、経験豊かなイベントプロデューサーだったり、プロのインテリアダesignerだったり。本当に棚田ネットワークは人材に恵まれています。「棚田」という一つのテーマに、いろいろな分野や世代の人が集まります。普段の生活ではあまり接触のない人たちと棚田を通して、同じ目的の元で活動が出来る。これも棚田の多面的機能の現われでしょうか(笑)。

棚田ネットワークは人と人のつながりの中で、棚田を応援して行きます。これからも、みんなのつながる力で盛り上げていきましょう!

ホームページの姿を見て!

棚田ネットワークHPは、主要検索サイトの「棚田」で、ほぼトップにランクする優良サイトです!内容も盛りだくさん、今年はウェブ独自企画も計画中!乞うご期待。



おすすめコンテンツ

『棚田オーナー制度一覧』

いよいよ、来年度の棚田オーナー制度の募集が各地で始まっています。ぜひ、このページで、お近くの地域を探してみてくださいね!

www.tanada.or.jp/save/owner/



2011年1月号 Vol.74

発行



NPO法人
棚田ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 7-18-16 トーシンハイム 704 号

Tel / Fax 03-5386-4001

e-mail : info@tanada.or.jp URL : www.tanada.or.jp

【今月の表紙】10月初旬、白米千枚田(石川県輪島市)で行われたイベント「あぜの万燈(あかり)」。3万本のろうそくが秋の棚田を照らし出す。

※「棚田博士は今日も行く」は都合により休載しました。